

## ■ 人口の将来展望

子育てしたいと思える環境の充実による『出生率の上昇』、良好な住環境の維持・向上による『転入・転出に伴う人口増』を今後も進め、2060年（令和42年）において人口10万人の維持を目指します。

# 2060年に人口 10万人 の維持を目指します

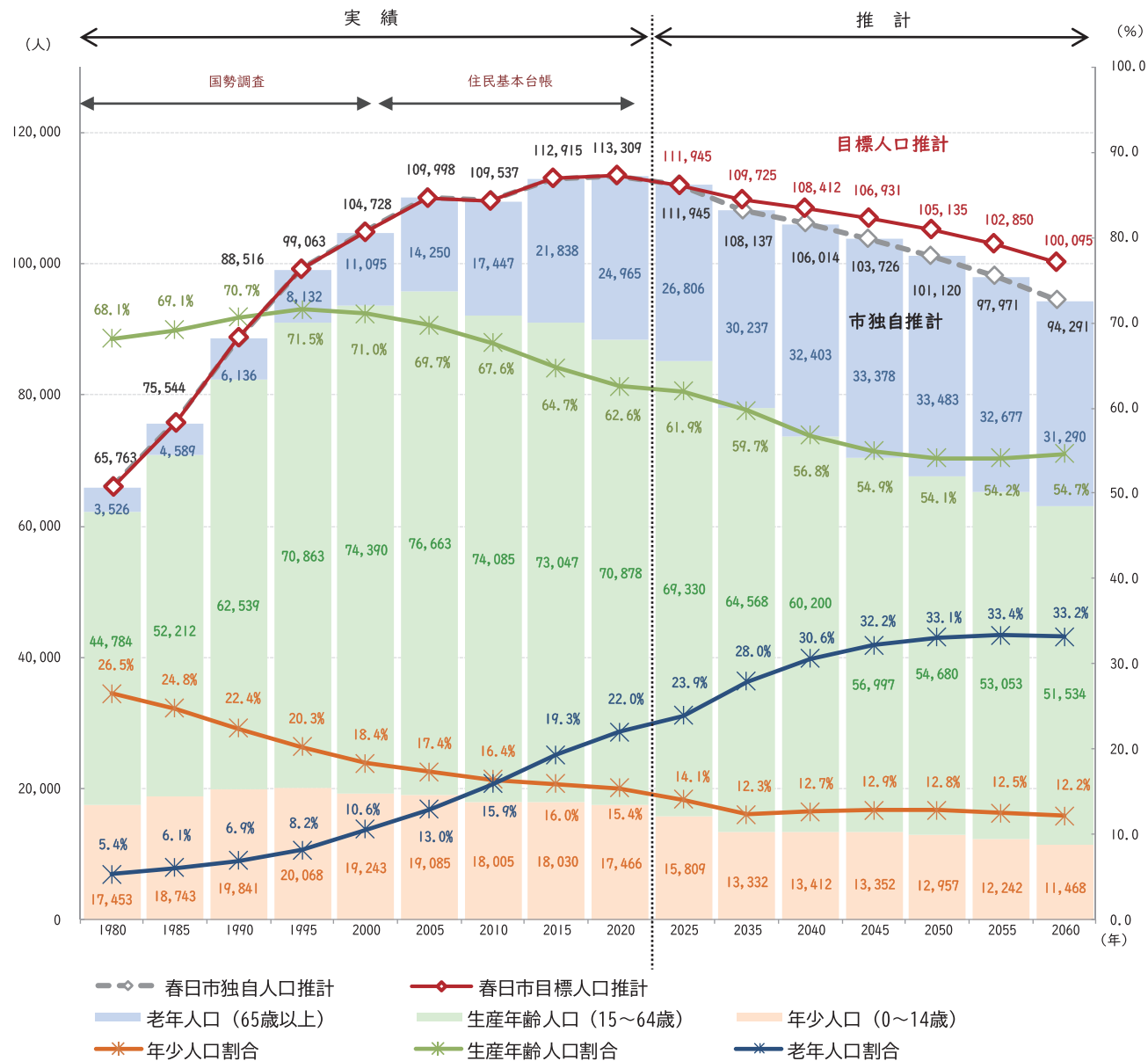
### 自然動態（出生・死亡）

今後も子育てしたいと思える環境を充実させ、『出生率の上昇』を目標とします

### 社会動態（転入・転出）

良好な住環境の維持・向上を図り、『転入・転出に伴う人口増』を目標とします。

＜第3期人口ビジョン 春日市人口推計（年齢3区分別）及び目標人口推計＞



第3期 春日市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
令和7年3月

【編集・発行】 春日市役所  
〒816-8501 福岡県春日市原町3丁目1-5  
TEL：092-584-1111 FAX：092-584-1145

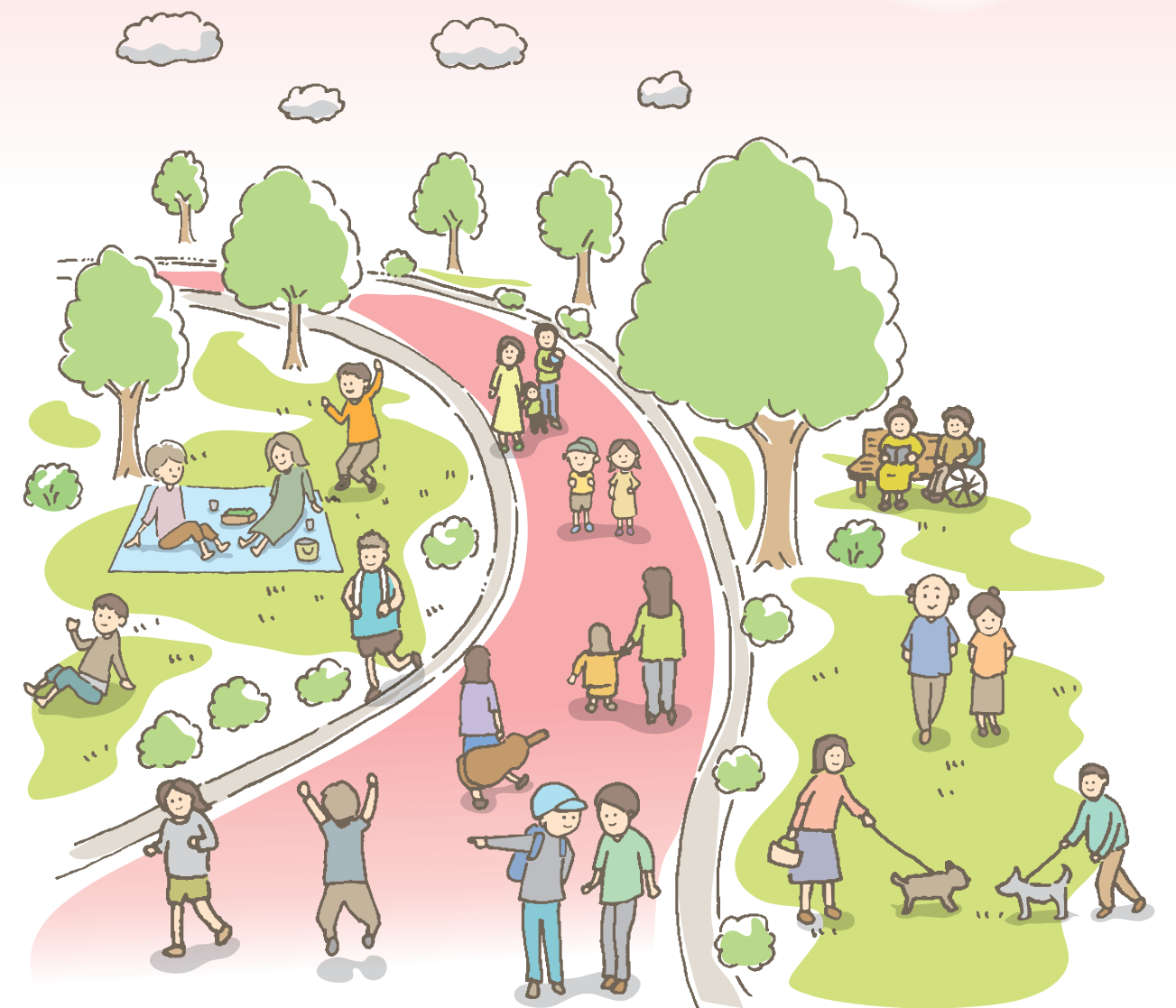
## 第3期

# 春日市

## まち・ひと・しごと

# 創生総合戦略

## 概要版



### 「まち・ひと・しごと創生」とは

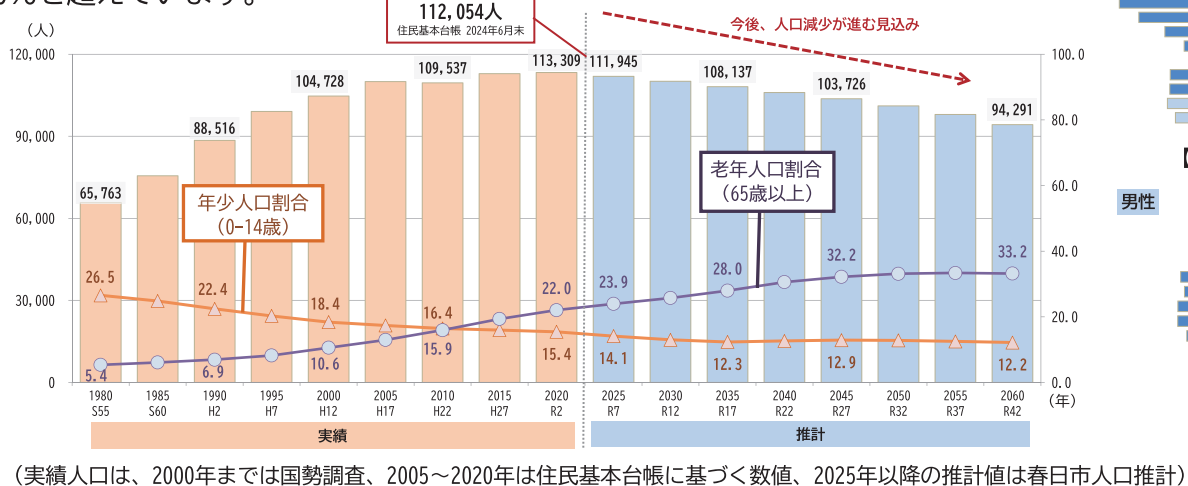
国の総人口は、既に減少が始まっており、今後、地域経済の縮小など、様々な影響が懸念されることから、官民を挙げて、人口減少の克服に取り組んでいます。

本市においても、人口の現状と将来の姿を明らかにするため、「春日市人口ビジョン」を策定し、今後到来する人口減少社会に的確に対応し、将来にわたって活力のある地域社会を維持していくため「第3期春日市まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：2025（令和7）～2030（令和12）年度）」を策定しました。

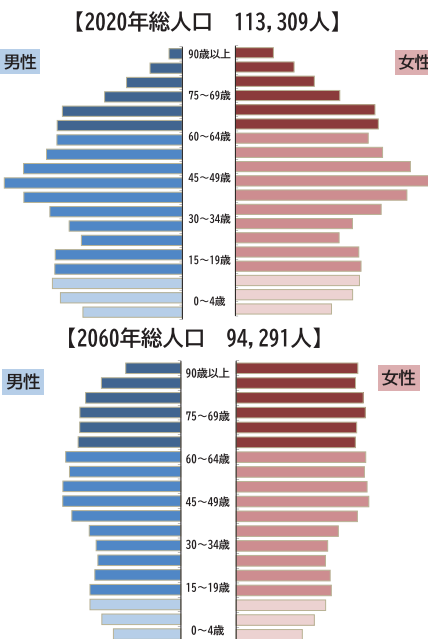
## ■ 人口の現状と今後の推計

春日市の人口は、これまで増加基調にありましたが、令和2（2020）年をピークに減少に転じています。将来人口の推計では、今後も減少傾向が続く見込となっています。

老年人口（65歳以上）の増加が進み、令和2（2020）年の国勢調査では、高齢化率が20%を超えています。



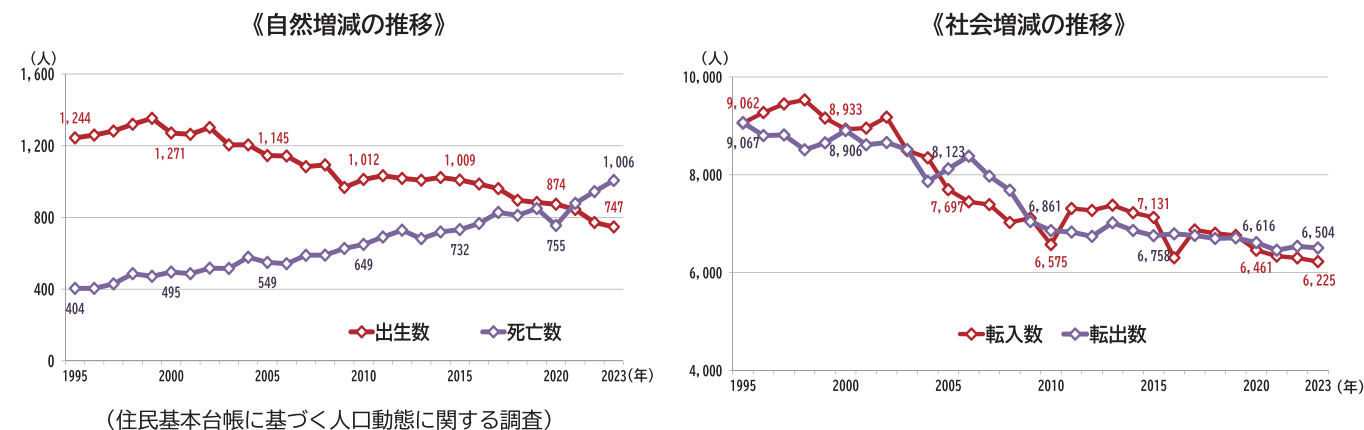
## 《年齢階層別人口ピラミッドの推移》



## ■ 人口増減の特性

**自然増減（出生と死亡による人口増減）** 老年人口の増加に伴い、死亡数が年々増加しており、令和3（2021）年以降、死亡数が出生数を上回る自然減の状況となっています。

**社会増減（転入・転出による人口増減）** 転入・転出数ともに減少しており、直近では、ほぼ均衡状態（転入・転出数が同等の数）で推移しています。年齢階層別でみると、20歳台の人口流出が顕著になっています。



## 第3期春日市まち・ひと・しごと創生総合戦略 《3つの基本目標》

### 基本目標1

#### 若い世代の結婚から子育てまでの希望がかなうまちづくり

- 一定の人口規模を維持するうえで出生数の増加が不可欠
- 経済的な負担など「子どもを持ちたい」という希望の阻害要因を可能な限り取り除く
- 若い世代が安心して結婚から子育てまでの希望がかなえられる環境の整備に取り組む

| 目標指標             | 現状値                 | 目標値（2030年） |
|------------------|---------------------|------------|
| 理想と実際の子ども数のギャップ  | -0.48人<br>(2024年)   | -0.48人より改善 |
| 合計特殊出生率          | 1.43<br>(2022年、市推計) | 1.48以上     |
| 春日市で子育てをしたい市民の割合 | 94.7%<br>(2023年)    | 98.0%以上    |

#### 指針1 妊娠・出産・子育て支援施策の充実

- 相談支援体制の強化
- 産前・産後サポート事業、産後ケア事業の充実
- デジタルを活用した保護者の利便性向上
- 子育てに係る経済的負担の軽減
- 保育環境の充実
- 子どもの健やかな育ちの促進
- 子どもの発達支援

#### 指針2 男女共同参画社会の推進

- 家庭と仕事を両立できる環境の整備
- 固定的性別役割分担意識の解消



### 基本目標2

#### 九州で最も住みやすい魅力あるまちづくり

- 人口の集積は良好な住環境を形成し、人を呼び込む好循環を生み出す
- 一定の流入人口を確保するため、都市機能・市民サービスの充実に取り組み、魅力あるまちづくりを目指す

| 目標指標           | 現状値              | 目標値（2030年） |
|----------------|------------------|------------|
| 住みやすいと感じる市民の割合 | 88.6%<br>(2024年) | 95.0%以上    |
| 住み続けたい市民の割合    | 88.4%<br>(2024年) | 92.0%以上    |
| 人口の社会増減        | 276人減<br>(2023年) | ±0人以上      |

#### 指針1 協働のまちづくりの推進

- 地域コミュニティ活動の活性化
- 地域活動の拠点整備・市民活動と交流の場づくり

#### 指針2 学校教育の充実・共育（共に育てる）の推進

- きめ細やかな指導・体制の一層の充実
- コミュニティ・スクールの推進
- 安全・安心な教育環境づくり

#### 指針3 良好な住環境の確保

- 都市空間の形成
- 空き家対策の推進
- 憩いの空間の整備・維持

#### 指針4 交通体系の整備・維持

- 都市計画道路の整備
- 交通結節点の整備
- 公共交通体系の整備

#### 指針5 商工業の活性化

- 新規創業支援の充実・市内事業者への支援の充実

#### 指針6 安全・安心なまちづくり

- 地域防犯活動の推進
- 地域防災体制の整備

#### 指針7 まちの魅力発信

- シティプロモーションの推進・効果的な情報発信

#### 指針8 若い世代の還流・定着

- 高等学校や大学との連携強化

### 基本目標3

#### 超高齢・人口減少社会に対応した持続可能なまちづくり

- 高齢化など人口構造の変化は、社会保障制度の維持が困難となるなど様々な悪影響が懸念される
- 持続可能な財政基盤の強化とこれまで以上に効果的かつ効率的な行財政運営に取り組む

| 目標指標              | 現状値                  | 目標値（2030年） |
|-------------------|----------------------|------------|
| 健全化判断比率           | 早期健全化基準未滿<br>(2023年) | 同基準未滿を維持   |
| 行政運営の効率化に対する市民満足度 | 48.5%<br>(2024年)     | 現状値より向上    |

#### 指針1 社会保障制度の安定的な運営

- 介護予防の推進
- 健康づくり支援の充実

#### 指針2 行財政改革の推進

- 持続可能な財政運営
- デジタル・トランスフォーメーションの推進
- 圏域・広域行政の推進
- 公共施設等の適正な管理と有効活用

